

利便性を重視し、いつでも吸える環境に

ハイパーアジア 立川

【総台数983台】

〈喫煙ブース『スモーククリア』〉



トイレや飲み物を買う時に立ち寄りやすい場所に設置した



各階の出入り口に設置

「アジア」などの屋号で関東に8店舗を運営するSUISHA YAGROUP。ハイパーアジア立川店は、立川駅から徒歩1分の駅前店でグループ店最大規模を誇る。

改正健康増進法を事前に来店客へ理解してもらおうと、エルゴジャパンの「スモーククリア」を導入。スタッフは来店客とコミュニケーションを図り、4月から店内

が完全分煙になることを事前に伝えていた。

同店は1〜3階の多層階フロアで、設置場所は全階の店内入口付近やトイレ、階段付近などの人通りの多い場所に1人用、2人用を計13台。来店客の目に付きやすく、利用しやすい場所に設置した。

「自店は多層階で、お客様が入りやすい場所が非常に多いです。そこで、各階の出入り口や階段付近などのお客様が来店する時点で気づきやすい場所に設置しました。また、お手洗いや飲み物を買に行く動線に設置すること

で、遊技台へ戻る前に喫煙できます」と話すのは今泉アシスタントマネージャーだ。

喫煙ブースを設置する店舗では、大幅な減台を迫られる店舗もある。だが「スモーククリア」ならば省スペースで設置が可能。その点も導入の決め手になったという。

「喫煙ブースを置くスペースを確保するのは難しいと考えていましたが「スモーククリア」なら空きスペースに設置できます。設置後の移動もできるので、置きたい場所にすぐ移動させることができるのは助かります」

また、立川店では喫煙ブース設置前に自店の喫煙率を調査。1日3回に分けて、たばこを持っていく来店者を数えたところ喫煙率は3〜4割ほどだった。

「ピーク帯の店内には喫煙されているお客様が常にはいらっしやいます。そう考えると4月になれば、常にお客様が喫煙ブースを利用されていることとなります。今後の使用状況を見て、お客様が利用しやすいようにオペレーションなどを考えていきます」

喫煙ブース設置後、非喫煙者からは「これで落ち着いて遊べる」と喜びの声が上がった。一方、喫煙者の中には法改正を知らない人もいたが、POPやスタッフの声掛けなどを行い、周知することで来店客に伝わってきた。3月時点ではまだ遊技台で喫煙できるが、実際に喫煙ブースを利用する来店客が多いという。

「打みたい遊技台を探しながら喫煙ブースを利用するお客様が意外と多いです。徐々に浸透してきているなと感じています。今後もお客様が快適に過ごせるよう、取り組んでいきたいと思えます」



POPで完全分煙を呼び掛けている